

10 / 30

“がんばろう茨城” 明るい未来を信じて！ 第24回石岡市企画展 開催中



月魚 ひろこ 「ひるなかの夢」



磯山 芳男 「告知」



石岡市企画展実行委員長
関甲太郎さん(86)
茨城大学教育学部卒業。10年以上にわたり市の企画展の実行委員長を務める。現在は茨大書道部OBで構成される茨朋会と市内中心に活動する八郷硯友会の会員として活動している。

日時：10月30日(金)～11月4日(水) 午前10時～午後4時(最終日午後3時)
場所：八郷総合支所1階「郷の風」

「今年は新型コロナウイルス感染症で、開催は最後まで悩んだよ」そう話すのは、企画展実行委員長の関甲太郎さん(86)です。しかし、感染拡大が収まらず不安とストレスが増すばかりの日常の中で、一時でも心に安らぎを感じてもらいたい、と開催を決めました。

毎年、企画展では写真、絵画、書、陶芸…など様々なジャンルの芸術家による作品を展示しています。「いろんな芸術に触れてもらうために、お願いする2名の芸術家のジャンルはあえて別にしていました」と関さん。今年、展示するのは、パソコンを使ってイラストを描く月魚ひろこさんと彫刻家の磯山芳男さんの作品。芸術の秋に、親子で、友人で、作品を鑑賞してみたいはいかがでしょうか。

9 / 3

歴史ボランティアの会 常陸風土記の丘にある染谷古墳群を整備



市内の遺跡や歴史的建造物についての案内をしている歴史ボランティアの会の皆さんが、染谷古墳群の整備を行いました。12名で2時間ほど作業を行い、整備前は膝のあたりまで伸びていた草も、すっきりとした状態に。

参加者は「市の財産を大事にしたい、訪れた人に満足して帰ってもらいたいという気持ち。多くの人に、取り組みを知ってもらい、一人ひとりが大切にしようと思ってもらえたら」と、想いを話してくれました。

9 / 25

国府中学校美術部 「コロナに負けるな！！」想いを込めて



国府中学校美術部の生徒が、文化祭の出し物として、疫病退散にご利益があるとされるアマビエを描いた作品を制作しました。アマビエの鱗や珊瑚を全校生徒のメッセージカードにするなど生徒たちのアイデア満載のダイナミックな作品。部長の佐子川さん(3年)は「文化祭が中止になってしまって残念。早くコロナが収まって、いつも通りの生活を送れるようになってほしい」と話しました。

(写真左から) 鈴木武蔵先生、阿部清夏さん(3年) 佐子川菜々さん(3年)

9 / 28

コロナ禍でも子どもたちに活躍の場を 市内小中学校で運動会



新型コロナウイルス感染症の状況を受け、市内の各小中学校では規模を縮小しての運動会や代替イベントが行われました。

石岡小学校(写真)では「石小オリンピック2020」とし、低学年、中学年、高学年で時間を分けて密にならないようにしたり、開・閉会式を校内放送で行うなど工夫して開催。

いつもと違う運動会に子どもたちは「去年とは違うけど、できてよかった。楽しかった」と笑顔を見せてくれました。

9 / 30

(株)トーシンウイングから石岡市へ アルコールオートディスペンサー寄贈



(株)トーシンウイング(柏原)から、(株)常陽銀行が扱う「寄贈サービス付私募債」を利用して、市にアルコールオートディスペンサー18台を寄贈いただきました。

寄贈されたディスペンサーは市内保育所や児童館など、児童や保護者が多く利用する施設で活用しています。

(写真左から) (株)常陽銀行 椎根哲也石岡支店長、(株)トーシンウイング 大森義雄代表取締役社長、谷島市長